



葛飾北斎「浮世画譜」より

平成24年度 山口県文書館古文書実践講座テキスト

山口町人安部氏の奥州旅日記

① 「あつまにき」
No.5

の脚 山 少 なる
 月 毎 々 又 入 境
 三 島 牙 一 山 境
 一 傳 書 七 部 寄
 後 文 乃 七 部 寄

一 一 一 一

け 山 乃 少 なる

の 脚 一 山 一 なる

七 島 牙 一 山 境

一 一 一 一

一 傳 書 七 部 寄

後 文 乃 七 部 寄

月 毎 々 又 入 境

三 島 牙 一 山 境

一 傳 書 七 部 寄

Handwritten text in a cursive script, possibly a form of shorthand or a specific dialect. The text is arranged in several lines across the page. The script is highly stylized and difficult to decipher without a key or context. The lines of text are roughly horizontal, with some variations in line length and spacing. The overall appearance is that of a handwritten document or a page from a book.

子以乃下明日... 宿願の山
明神... 宿願の山
初音を

アカと云仲らる... 宿願の山
宿願の山

一 九月廿八日... 宿願の山

まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
ニクリいしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと

下馬のりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと
まきすのりばるのこしとまきすのりばるのこしと